

## ヘルプマークってご存知ですか？

ヘルプマークは義足や人工関節を利用している方、内部障害や難病の方、精神障害や知的障害のある方々、又は妊娠初期の方など、外見ではわからない援助や配慮が必要な人々が周囲に配慮が必要なことを知らせることで、援助が得やすくなるように2012年に東京都が作成したマークです。ヘルプマークは、作成・活用することができますが、ヘルプマークの趣旨にあっていないこと・デザインを改変しないなどの要件があります。また、経済産業省において、2017年7月20日にJIS（案内用図記号）に追加されました。

兵庫県では、年齢、性別、障害の有無、文化などの違いにかかわらず、だれもが地域社会の一員として支え合うなかで安心して暮らし、一人ひとりが持てる力を発揮して元気に活動できるユニバーサル社会づくりの取り組みの一環として、ヘルプマークの普及啓発に努めるとともに、平成30年1月より、ヘルプマーク・ヘルプカードの交付申請の受付を開始しています。  
※詳しくは下記を参照してください。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/helpmark.html>



郵送で届いたヘルプマーク

昨年12月、宝塚市に問い合わせたところ、「只今検討中」とのお返事でした。早く宝塚市でも配布されたらと思っています。  
(紀宝)

ボランティア活動助成 活動活性化費助成事業

## 大人のお話づくり講座 おはなしをかいてみよう

宝塚童話の会 おはなしのさんぽみち

「今日の題材は、<sup>キンモクセイ</sup>金木犀。30分原稿用紙2枚に、お話を書いてみましょう！」と、各自で早速お話づくりの時間。題材は同じでも、思いはそれぞれ。コツコツと鉛筆の音しか聞こえない時間が流れ、30分後、ほぼ全員が自分だけの『金木犀』のお話を作り上げていました。

一人ずつ、自分の書いたお話を朗読し、みんなで感想を言い合います。先生からの的確なアドバイスを時には手直しも…。

おはなしに取り組む真剣な顔と、書き上げた時の子どものように嬉しそうなお話の表情がとても印象的でした。

### 童話の会 おはなしのさんぽみち

出前公演をしたり、幼児とおかあさんの紙芝居とおはなしの広場（サークルあおむし）を開催しています。また、読書や文を書くことの場の提供として公開講座を実施しています。

#### ●おとなのおはなしづくり

毎月第3木曜日 13:30～15:30 中央図書館

#### ●かみしばい&おはなしのひろば（サークルあおむし※）

毎月第4金曜日 10:30～11:30 中央図書館

※サークルあおむし 『おはなしのさんぽみち』と手作りおもちゃを製作しているボランティアグループ『ランチボックス』のコラボサークル



## づか塾の体験記者さんも取材に参加しました！

(おはなしのさんぽみち)

ボランティアって、被災者の復興のお手伝いするものでしょ。なんて敷居の高いものと考えていたが、「おはなしのさんぽみち」というボランティア活動の取材のお手伝いで、ボランティア活動は身近なところで、できるもんだと認識を改めた。でも「金木犀」という課題に30分・800字以内で作文するというのを、皆さんが見事にクリアしていることに驚いた。(づか塾体験記者；神谷さん)



(紙芝居サークルちようちよ)

初めての取材体験という新鮮な期待感でいっぱいでした。カメラのシャッターを切りながら、まるで役者の一人芝居を見ているような錯覚、聞いているような感覚でした。こどもの楽しみというイメージが先行していた私ですが、紙芝居を観る聞く楽しみ、取材をする楽しみの両方を体験することができた貴重な時間でした。



(づか塾記者体験；山尾さん)

### づか塾って

シニア世代の皆さんが楽しくこれからの人生を考え、自身の居場所づくりやいきがいを見つけられるよう応援する『地域デビュー入門講座』です。  
みんなボランティア 169号 (2018.3.1 発行)